



MUFG通信

2019年度通期(2019年4月1日~2020年3月31日)

三菱UFJフィナンシャル・グループ

URL : <https://www.mufg.jp/>

証券コード : 8306



社長メッセージ

本年4月に、グループCEOに就任しました亀澤です。株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、感染された方々やそのご家族に心からお見舞いを申し上げます。

MUFGは、本業である金融サービスを通じて、お客さまや社会を支え続けていくことが社会的使命と考え、行動しています。

まず、2019年度の業績についてご説明した後、今後のMUFGの取り組みについてご説明します。



2019年度の業績について

業務粗利益は、市場関連収益の増加に加え、インドネシアのバンクダナモンや、豪州のアセットマネジメント会社First Sentier Investorsの連結子会社化による増収もあり、前年度比2,605億円増加の3兆9,863億円となりました。営業費は、海外での業容拡大や規制対応費用増加を主因に、前年度比1,547億円の増加となりました。この結果、業務純益は前年度比1,058億円増加し1兆1,844億円となり、5年ぶりに増加に転じました。

親会社株主純利益は、前年度に計上した貸倒引当金の戻入の反動や新型コロナウイルス感染症拡大による影響を考慮した引当金の計上等により与信関連費用が増加したことや、バンクダナモンおよびタイのクルンシィ(アユタヤ銀行)ののれん一括償却に伴う特別損失を計上したことにより、前年度比3,445億円減少の5,281億円となりました。

当社財務の健全性を示す自己資本比率は、2020年3月末の普通株式等Tier1比率が11.90%と、引き続き十分な水準を確保しています。

2019年度の期末配当は、期初予想の通り1株当たり12.5円としました。年間配当は、中間配当とあわせて25円と、前年度比で3円の増配となります。また、

2020年度の配当につきましては、感染症拡大の収束時期や経済・社会への影響は不透明ではありますが、一定の前提*を置いた上で、1株当たり年間配当予想25円を発表しました。

*2019年度決算ハイライト11ページをご参照願います

新型コロナウイルス感染症拡大を受けた取り組みについて

いま世界は、新型コロナウイルス感染症の拡大という難局に直面しています。感染拡大の影響が広く実体経済へと波及するなか、MUFGは、お客さまと従業員の安全確保を第一に、お客さまの生活の維持や事業継続に欠かせない業務に最優先で対応しています。インターネットやアプリなど、いつでもどこからでもご利用いただけるサービスの普及にも努めています。

また、日本赤十字社への寄付に続き、学生の進学・生活、および芸術活動の継続への寄付を含めた支援を行いました。こうした支援が、社会・経済が一日も早く安定を取り戻し活気ある豊かな日常に戻る一助となることを強く願っています。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会のデジタルシフトや多様な働き方への移行、社会貢献意識の高まりなど、従来からの社会構造変化や課題を一層浮き彫りにしました。MUFGは、こうした変化に能動的に対応し、お客さまや社会の期待に応えていきます。

最後に、厳しい業務環境のもと、お客さまの生活維持や事業継続に向けて創意工夫しながら最前線で働いている従業員について、経営として大変誇りに思うとともに、そうした従業員の健康と安全を維持することも経営の責務であり、それがお客さまや社会への貢献にも繋がると考えております。

未曾有の難局を乗り越え、どんな環境においても常にお客さまや社会から信頼され続けるMUFGをめざし、役職員一同、全力を尽くしてまいります。今後とも皆さまのご理解と一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年6月
取締役
代表執行役社長 グループCEO

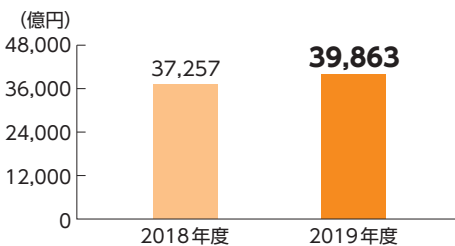
亀澤 宏規

2019年度決算ハイライト

✓ 決算のポイント

- 親会社株主に帰属する当期純利益（連結当期純利益）は、5,281億円
- 貸出金は前年度末比1兆7,021億円の増加、預金は7兆4,522億円の増加
- 普通株式等Tier1比率は11.90%と、十分な水準を維持

連結業務粗利益



米国金利低下影響により資金利益が減少しましたが、国債等債券関係損益の増加に加え、バンクダナモン・First Sentier Investors 連結子会社化による役員取引等利益の増加もあり、前年度比2,605億円増加しました。

与信関係費用総額*

前年に計上した貸倒引当金の戻入の反動に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響拡大を考慮した引当金の計上等により、前年度比2,171億円増加し、2,229億円の費用計上となりました。

* 与信関係費用(信託勘定) + 一般貸倒引当金繰入額 + 与信関係費用(臨時損益) + 貸倒引当金戻入益 + 偶発損失引当金戻入益(与信関連) + 償却債権取立益

■ 損益の状況(連結)

● 連結業務粗利益(信託勘定償却前)	
営業費(△)	
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	
● 与信関係費用総額(△は費用)	
経常利益	
親会社株主に帰属する当期純利益	

■ 資産・負債の状況(連結)

資産の部合計	
貸出金(銀行勘定)	
有価証券	
うち国債	
負債の部合計	
預金	
純資産の部合計	

■ 自己資本の状況(連結)

普通株式等Tier1比率	
Tier1比率	
総自己資本比率	

(単位：億円)

2018年度	2019年度
37,257	39,863
26,471	28,018
10,785	11,844
△58	△2,229
13,480	12,357
8,726	5,281

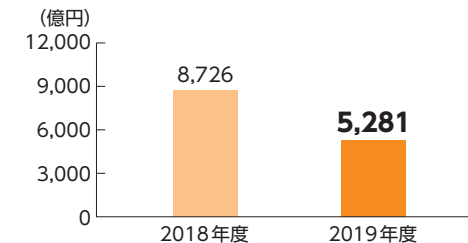
(単位：億円)

2018年度末	2019年度末
3,111,389	3,365,713
1,074,124	1,091,146
642,624	655,551
226,430	217,436
2,938,772	3,197,156
1,801,712	1,876,235
172,616	168,557

営業費

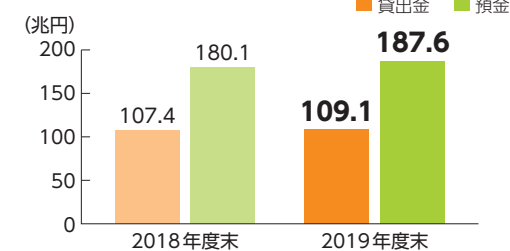
海外での業容拡大や規制対応コスト等により、前年度比1,547億円増加しました。

親会社株主に帰属する当期純利益



海外連結子会社ののれん一括償却に伴う特別損失を計上したことにより、前年度比3,445億円減少し、5,281億円となりました。

貸出金・預金



貸出金残高は、海外向け貸出を主因に、前年度末比1兆7,021億円増加しました。預金残高は、国内店の個人預金および法人預金の増加を主因に、前年度末比7兆4,522億円増加しました。

自己資本比率(バーゼルⅢ)

普通株式等Tier1比率*は、11.90%と引き続き十分な水準を確保しています。

* 普通株式等Tier1比率 = 中核的な自己資本(資本金・剰余金) ÷ リスク・アセット

(注)業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

新型コロナウイルス感染症拡大への対応

新型コロナウイルス感染症拡大による影響が広く実体経済へと波及するなか、金融サービスを通じて、お客さまや社会を支え続けていくことが、MUFGの責務であり社会的使命と考えています。

すべてのステークホルダーの安全確保と安定的な金融機能の維持を最優先と位置づけ、以下の施策を迅速に実行しています。

店舗運営	店舗・事務センターに、本部より1,000名強*1の応援を配置、銀行・信託の国内全店舗を休止・縮小させず、金融インフラとしての責務を果たす	
資金繰り支援	大企業・中堅中小企業向け 新型コロナウイルス関連相談受付	新型コロナウイルス関連 新規貸出実行
	約1万件*2	約3,000件／約2.5兆円*3
非対面・デジタル対応	個人 ダイレクト*4利用者数	法人 Biz LENDING*6申込件数
	約3倍*5	約3倍*7
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> 医療、学生の進学・生活、芸術活動への支援(25億円) 治療薬の研究開発・製造等の医療産業支援(100億円規模の投資ファンド設立検討) 	
リモートワーク	国内約5割、欧米は概ね8-9割、アジアは地域に応じて利用拡大中	

*1 今後の予定を含みます

*2 3月10日以降、5月8日までの新規貸出・条件変更の相談受付件数。銀行国内営業拠点からの報告およびオンライン受付件数ベース

*3 3月10日以降、5月8日までの実行件数・金額(コミットメントラインの極度内実行を含む)。銀行国内営業拠点からの報告ベース

*4 個人向けインターネットバンキング[三菱UFJダイレクト]

*5 2019年3月と2020年3月の前月比利用者増加の比較

*6 法人向けポータル「MUFG Biz」のオンライン融資サービス

*7 2019年11月と2020年3月の比較

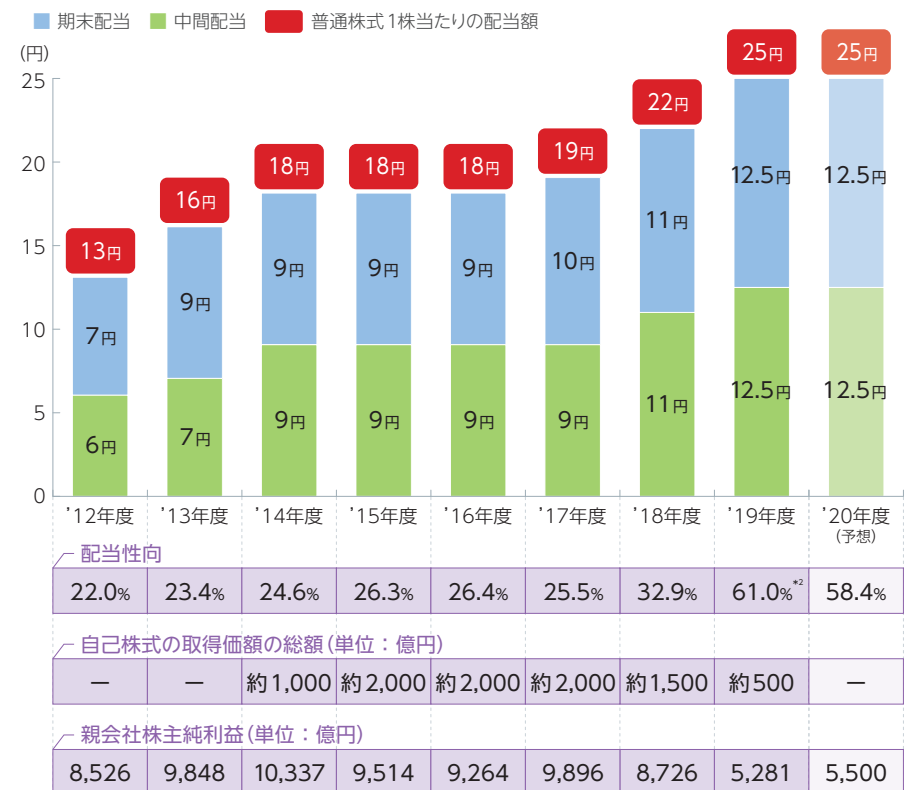
資本政策

2019年度の年間配当は、前期に比べ3円増配の1株当たり25円としました。配当性向は61%ですが、規制資本に影響を与えない「のれん一括償却」による影響を控除した、実質的な配当性向は37%です。

利益成長を通じた1株当たりの配当金の安定的・持続的な増加を基本方針とし、2023年度までに配当性向40%への引き上げをめざす方針に変更はありません。

2020年度の1株当たりの年間配当額は、一定の前提*1を置いた上で、2019年度と同額の25円を予想しています。

*1 2019年度決算ハイライト11ページをご参照願います



*2 のれんの一括償却による影響を控除した配当性向は37%

(業績目標)



MUFGは、インターネット・スマートフォンアプリ等を利用していつでもどこでもご利用可能なサービスを強化しています。

個人のお客さま向けサービス

三菱UFJ銀行のインターネットバンキング「三菱UFJダイレクト」では、口座残高の確認やお振り込み、税公金・料金のお支払い等ができます。また、スマートフォンアプリでもさまざまなサービスを提供しています。たとえば、「かんたん手続きアプリ」では、キャッシュカード・通帳をなくした場合やキャッシュカード磁気不良等で使用できない場合も24時間365日*1スマートフォン等でご利用停止や再発行のお手続きができます*2。

こうしたサービスはご来店いただかなくてもご利用可能なことから、新型コロナウイルス感染症拡大のなか、一層ご利用いただいています。今後もお客さまの健康・安全を最優先に、金融サービスの提供を続けてまいります。

全取引におけるダイレクト*3・アプリが占める割合

		2018年度	2019年度
三菱UFJダイレクト 	振込	40%	↑ 44%
	税公金・料金支払	65%	↑ 69%
かんたん手続きアプリ 	住所変更	16%	↑ 26%
	カード使用不能・再発行	9%	↑ 22%

*1 毎月第2土曜日21:00～翌朝7:00はシステムメンテナンスのため、ご利用いただけません

*2 お取引の状況によりアプリでお手続きできない場合があります

*3 個人向けインターネットバンキング「三菱UFJダイレクト」

企業のお客さま向けサービス

法人向けポータルサイト「MUFG Biz」

三菱UFJ銀行の「MUFG Biz」は、インターネット上で企業のお客さま向けにさまざまなサービスを提供するポータルサイトです。本サイトで提供しているサービスは、三菱UFJ銀行の知見やネットワークと、スタートアップ企業等の革新的なアイデアや技術を組み合わせています。今後はお客さま向け郵送物のWeb化など、お取引の利便性向上をめざしたサービスのリリースも予定しています。

Biz MATCHING 最適なビジネスパートナーを見つけられる	Biz AI為替予測 最新のAI技術で将来の為替動向を予測できる	Biz M&A 事業の売却・買収をWEBで簡単エントリー
Biz COCKPIT 財務状況や取引状況がひと目でわかる	Biz NEWS お客さまにあわせて最適なニュースをピックアップ	(予定) 郵送物Web化 郵送物をWeb閲覧、ダウンロードに切り替えられる

中小企業向けのオンライン融資サービス「Biz LENDING」

三菱UFJ銀行の「Biz LENDING」は、入出金データなどをもとに与信審査を行い、融資取引を行うサービスです。三菱UFJ銀行に一定期間、口座をお持ちのお客さまであれば、お申込みからご融資実行までオンラインで完結するため、銀行店舗の営業時間にかかわらず、お借り入れが可能です。また入出金データなどに基づき、AIを活用した与信審査モデルにて審査を行うため、決算書のご提出も不要です。



持続可能な社会の実現に向けて

MUFGは、持続可能な環境・社会の実現に向け、事業を通じて社会課題の解決に取り組んでいます。最近の取り組みをご紹介します。

サステナブルファイナンスの進捗

サステナブルファイナンスとは、再生可能エネルギーなどの環境分野、社会インフラ設備や地域活性化などの社会分野に対して融資やファンド出資等を行うものです。MUFGは、2019年度から2030年度までの12年間に累計20兆円(うち、環境分野で8兆円)のサステナブルファイナンスの実施をめざしており、初年度となる2019年度の実績は3.7兆円(うち、環境分野で2.2兆円)となりました。

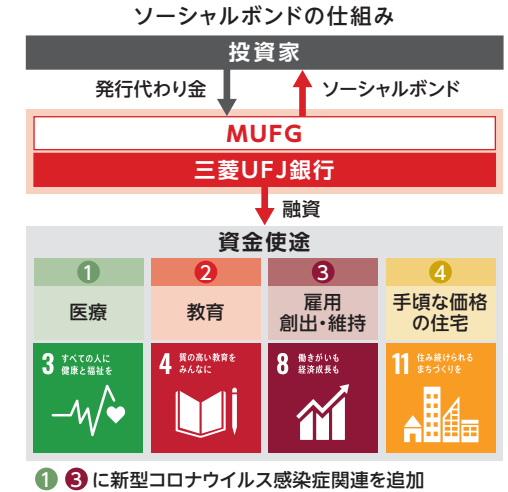
		2019年度実績	2030年度目標*
環境	再生可能エネルギー事業向け融資・プロジェクトファイナンスの組成等	0.9兆円	8兆円
	グリーンボンドの引受	0.5兆円	
	その他	0.8兆円	
社会	社会インフラ設備・地域活性化等に資する融資等	0.9兆円	12兆円
その他	環境・社会に跨る分野(サステナビリティ・リンク・ローン等)	0.6兆円	
累計		3.7兆円	20兆円

三菱UFJ銀行では、本邦初となるサステナビリティ・リンク・ローンを成約しました。サステナビリティ・リンク・ローンは、お客さま自身のESG関連の目標の達成状況に応じてお借入条件が変動するご融資で、お客さまの持続可能な事業活動とESG経営を支援しています。

* 2019年度に目標を設定しました

国内民間金融機関初のソーシャルボンド発行

MUFGは、2019年12月に国内民間金融機関として初のソーシャルボンドを発行しました。この資金は三菱UFJ銀行を通じて、医療、教育、雇用創出・維持、公共住宅など、社会課題の解決に資する融資に充当されます。2020年5月には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたお客さまへの資金支援、感染症の拡大防止や治療等に関わる融資等に資金使途を拡大しました。



WEBからのお手続きで

“Thank you” を届けよう。

三菱UFJ銀行・三菱UFJ信託銀行では、お客さまと共に医療関係者の皆さまへ感謝を伝える取り組みとして、「おうち生活で感謝を届けよう #おうちでMUFG」を実施しています。個人のお客さまのインターネット取引(三菱UFJダイレクト等)のご利用等に応じ、MUFGから最大5億円を日本赤十字社、公益社団法人全日本病院協会に寄付します。

詳細はホームページをご覧ください。

🔍 <https://www.bk.mufig.jp/stayhome/index.html>
<https://www.tr.mufig.jp/ippan/topics/stayhome.html>

MUFGからのお知らせ


以下の通り、株主さま向けセミナーを開催します。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、動画配信形式とします。お手持ちのパソコン、スマートフォンでご覧いただけます。

1 開催概要

対象者 …… 2020年3月末時点で当社株式をお持ちの株主さま
参加費 …… 無料

■ 経済セミナー

配信日程	2020年9月19日(土)～10月19日(月)
所要時間	90分
内容	テーマ 内外の経済・金融を展望する(仮題) 講師 五十嵐 敬喜 氏 株式会社リカレントエコノミクス 代表 前 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 研究理事



五十嵐 敬喜氏

■ 為替相場セミナー

配信日程	2020年9月30日(水)～10月30日(金)
所要時間	60分
内容	テーマ 外国為替市場の現状と展望(仮題) 講師 内田 稔 氏 株式会社三菱UFJ銀行グローバルマーケットリサーチ チーフアナリスト

■ 相続セミナー

配信日程	2020年9月17日(木)～10月17日(土)
所要時間	60分
内容	テーマ 相続のいろは～民法改正をふまえて～(仮題) 講師 MUFG相続研究所 主任研究員

2 申込方法

1. 下記URLにアクセスいただき、お名前・株主番号・ご住所・Eメールアドレスをご入力の上、お申込みください。

郵送でのお申込みは受け付けていないため、参加申込書(ハガキ)の同封はございません。

申込専用URL <https://www.mufg.jp/webseminar/index.html>

締め切り 2020年7月31日(金)



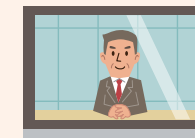
※カメラ付き携帯電話またはスマートフォンのアプリ等で、右のQRコードを読み取る方法でもアクセスできます。

2. 配信開始日の約1週間前までに、ご入力いただいたEメールアドレスに視聴方法等を記載したご案内メールをお送りいたします。

3. 動画視聴の際は、以下をご入力ください。

ユーザー名 ▶ mufg パスワード ▶ 202009

1 お申込み 2 ご案内メール受信 3 動画ご視聴 4 アンケートご回答



◎ご注意◎

1. 動画視聴に必要な通信料等は各自でご負担いただきます。
2. やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先：株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

MUFG株主倶楽部
専用デスク 0120-321-629
(通話料無料)

代表電話 03-3240-8111
(通話料有料)

受付時間：土・日・祝祭日を除く9：00～12：00、13：00～17：00

会社情報 / 株式情報

取締役・執行役 (2020年6月29日現在)

取締役	執行役
取締役* 藤井真理子	取締役* 山手 章
取締役* 本田 桂子	取締役 岡本 純一
取締役* 加藤 薫	取締役 小倉 律夫
取締役* 松山 遙	取締役 平野 信行
取締役* Toby S. Myerson トビー・S・マイヤソン	取締役 三毛 兼承
取締役* のもと ひろみ 野本 弘文	取締役 荒木 三郎
取締役* しんがい やすし 新貝 康司	取締役 長島 巖
取締役* Tarisa Watanagase タリサ・ワタナガス	取締役 亀澤 宏規

執行役員
執行役会長 平野 信行
代表執行役副会長 二毛 兼承
代表執行役副会長 荒木 三郎
代表執行役副会長 長島 巖
代表執行役社長 亀澤 宏規
執行役専務 安田 正道
執行役専務 藪田 健二
執行役専務 堀 直樹
執行役専務 宮地 正人
執行役専務 横川 直
執行役専務 二重 孝好
執行役専務 桑原 昌宏
執行役専務 柴 義隆
執行役専務 米花 哲也
執行役常務 林 尚見
執行役常務 半沢 淳一
執行役常務 亀田 浩樹
執行役常務 森 浩志
執行役常務 木村 智広
執行役常務 大澤 正和

* 藤井真理子、本田桂子、加藤薫、松山遙、トビー・S・マイヤソン、野本弘文、新貝康司、タリサ・ワタナガス、山手章の各氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役

株式事務のご案内

定時株主総会基準日	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 / 中間配当金 9月30日
公告掲載方法	当社の公告は電子公告により行っております。 電子公告掲載URL: https://www.mufg.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京、名古屋、ニューヨークの各証券取引所
株式事務取扱場所	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)
	事務取扱場所
	お問い合わせ先・郵便物送付先

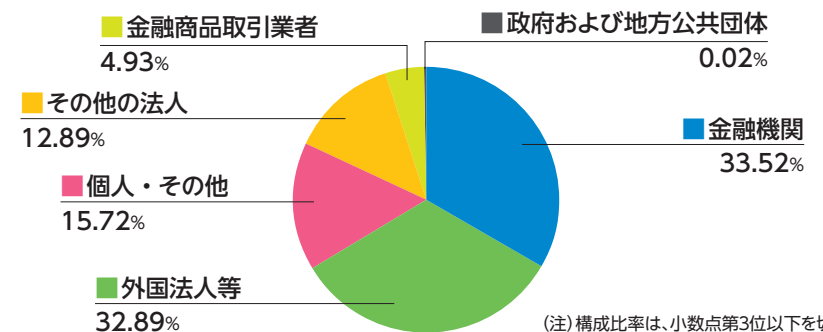
■ 株式に関するお手続き

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主さま原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、お取引の証券会社等にお問い合わせください。 特別口座に当社株式が記録されている株主さま上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
未受領配当金の支払	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

株式の状況 (普通株式) (2020年3月31日現在)

■ 株式の状況	発行済株式の総数	13,581,995,120 株
	株主数	754,778 名

■ 所有者別分布状況



■ 大株主

順位	株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	882,084,400	6.85
2	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	681,642,700	5.29
3	SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	323,134,697	2.51
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	274,801,900	2.13
5	BNYM RE NORWEST/WELLS FARGO OMNIBUS (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	271,085,100	2.10
6	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	253,343,500	1.96
7	JP MORGAN CHASE BANK 385151 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	218,028,972	1.69
8	GOVERNMENT OF NORWAY (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	199,031,525	1.54
9	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	187,972,500	1.46
10	STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	182,289,491	1.41

(注) 1. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 普通株式の持株比率は、自己株式708,498,772株を除いて算出しております。

■ 中長期的にめざす姿

世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ
-Be the world's most trusted financial group-

1. お客様の期待を超えるクオリティを、グループ全員の力で

お客様視点を中心に、グローバルに変化する多様なニーズを逸早くとらえ、グループ全員の力で応えていく。社員一人ひとり・一社一社が専門性を極め、グループ一体となって連携・協働し、世界水準のトップクオリティを追求する。

2. お客様・社会を支え続ける、揺るぎない存在に

変化の激しい時代においても、お客様の資産を守り、日本社会と世界経済の健全な成長を支える。一人ひとりが築く信頼と、グループ全員で作る強固な経営基盤で、最も信頼される頑健な存在であり続ける。

3. 世界に選ばれる、アジアを代表する金融グループへ

これまで培ってきた強みを活かし、日本はもとより、アジア、そして世界においても選ばれる存在となる。多様化・ボーダレス化する社会で、変化へ積極的に対応し、一人ひとりが成長・活躍できる組織として進化を続ける。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL : <https://www.mufj.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)